

宗信を播州に配流す(建久)

守護佐原十郎左衛門卒去後和泉紀伊兩國を

院(後鳥羽院カ)熊野詣駅家雜事となす

和田助家をして和泉大歌十生長官職を領せ

しむ(建武)

雜訴決断所牒(和泉国衛及守護所)(建武)

宮内丞為成和泉黒島村を領す(元弘)

龍門経光和泉木島莊地頭職(元弘)

雜訴決断所再牒(建武)

松尾寺僧徒具状(建武)

松尾寺僧徒具状(建武)

明人朱素郷来朝経路

天文の和泉知行高、文録檢地高

陶器領主

和泉国神社 泉州寺社教

和泉国神社教、村教、檢地石高

万代八幡宮 百舌鳥神社縁起書

地理 六 地理拾遺 和泉国二

名所旧蹟

和泉国旧蹟 七権者 七浦 七郷 七庄 七谷 七尾

界北之庄支配者、石高、庄屋

堺寺領寺 宿院

大仙陵 尾張谷

腰張紙 壺焼塩

戎の官(下石津) 戎腰掛の石(下石津)

行家の松(下石津) 神鳳寺

今井若家、兼平城跡、竹力城

常楽寺、金堂跡(船尾)

泥仁清公城跡、壺大明神

留木筑摩(留木) はんだ壺(東村)

花林寺(八田寺) 香林寺(南深井)

万代八幡、御廟塚(西村)

老山、一路の手鍋 乳の岡山(市村)

大鳥郡古蹟 古城趾 廃寺

和泉宮 和泉の国府

岸和田

鉢菜庵(一休)

大鳥居王子

信太郷

しのだの里

篠田王子

上野(信太東)

高師の浜

大王寺趾 高師の浜名所景物

浜寺旧跡 高石浜の事 浜寺公園

鉢塚

沖津の浜

横山

飛鳥

依網池(依羅池)

大伴金村の宅趾附帯塚山

小竹宮(尾井村)

乳ノ岡山(上石津)

踞尾村の旧墓

貝塚

一路庵、柳廬の詩

勢至塚(塩穴附近)

信田森

小林山蔭涼寺

取石ノ池(信太)

児の松(上野原)

風

祭礼仏事

祭礼仏寺歳中会 池車之大喧嘩之事

紀州大川円光大師尊像堺天神へ入仏

お蔭まいり

自明治十一年至二十八年祭礼其他

遊里

茶屋渡世差止の触 龍神遊廓

南新地 乳守の植女

御田植動所

歌謡

乳守の流行歌 遊女玉野の作詠

特殊風俗

微鮮魚壳

口碑伝説

聳入一休

左海一國寺絵師の事

風間六右衛門の事

出刃庖丁、田葉粉庖丁の由来並文殊四郎の銘刀の事

鬼の喜八風來人を世話する事

方言佐平次の起り

藤九郎妖怪屋敷に住む事

独鈷藤九郎悪心の事

同人智を以て立身の事

鼻の吉兵衛上戸の一致起請を統

福六友達を頼おいとを妻にする事

偽の文珠四郎の店出し

仏八月朔日の事

吞込婆に参会の事

福六勢州より帰国して大評議の事

さい女天罰を請る咄し

界伊賀屋庄右衛門の娘危難に遭ふ事

料理屋の尾根印

福六縁談を断はられ身を隠す事

穂積清太郎縁組の事

から白ひやうし

家原寺並文殊の由来

浜寺石地藏の不思議を看破する事

種々の石の事(独鈷石、紫雲石等)

菊一文字始り

本家文珠四郎の咄し(懐坂の由来)

釣狐狂言の由来

技 芸

武野紹鷗(茶人)

北向道陳(茶宗匠)

千の利休

趙陶斎(書家)

政治 一

総説

問屋掛り諸事控帳(寛政四年三月改)

公事訴訟御取捌帳(宝曆十一年八月)

石錢取様法並御勘定仕上格 附石錢場変更

政治 二

新地方御伺御届書控(天明四一文化三)

漁場争議訴訟(寛政三年九月)

政治 三

和泉界政所日記

跡部山城守勤務日記(天保五一九年)

界加々美(天保十四年 豆岡大輔写)

明治三十一年施行特別大演習関係記録

政治 四

歴代奉行(界御奉行御在勤之控 その他)

代官、与力、同心、番所役人、石錢勘定方

維新当初界役人

政治 五

奉行所

界役人職制

歴代領守

奉行の姓名及び在職年代

奉行屋敷、諸組屋敷、牢獄、処刑場

奉行所蔵武器

御番所武器

諸欠所上納銀之事

地子免除之事

御救米一件

帆別銀徴収

武家並寺院屋敷地

演劇場

政所

界奉行の地位

役人屋敷地

高札場

馬借会所

町役人

惣年寄

惣代職事

垣外

町年寄

町代

掛屋

維新当初町役人

船年寄、茶船年行司、茶船惣代、廻船年番

渡海組頭、渡海惣代、汽船組頭、人足頭

戸籍、稅務署、衛生、度量衡檢定所

一大区戸籍惣計表

界稅務署沿革

隔離病者の位置沿革等

度量衡檢定所

裁判所、刑場、監獄

裁判所位置沿革、刑場の位置

石川五右衛門の揺房

堺監獄支署沿革

河川浚渫、米価騰貴救助米、困糶米蔵一件

新川並ニ堺市内川浚渫

天保年間米価騰貴救恤一件

困糶米蔵取建一件

犬扶持、検地、台場建築、幕末関係、断片

犬扶持状之写 検地奉行並ニ年代

台場建築年代 幕末関係(暗殺、檄書)

断片(人名附)

戦乱

南北朝時代 戦国時代

織豊時代

支那国使入勤堺の旅館に宿す

米村権右衛門堺に來り生綱を買ふ

文書

三好義長書翰 宗久手書

農政

湊村関係事項

湊村の独立 湊村の人口

湊村に六尺給高掛り無かりし事

享保二十年新検地以來年々御取箇(中筋

北庄、湊、船松村之分)

(参考)

天保八年五人組御仕置帳(下石津村分)

県治

堺県職員録(明治七年)

堺県公布様録(明治十一年)

奉行政治

堺奉行代々名乗姓名表

天誅組の事

政治 一六

政治

改元鳥兔記(自大化元年至元禄元年)

政治上の関繫 嵩神天皇 皇朝歴史

難波高津宮 難波遷都高台望烟

説神官皇后論問答 仁徳天皇 神官皇后三

韓征服新羅貢船ノ記 難波長柄豊崎宮 用

明天皇 推古天皇 欽明天皇 仁賢天皇

元明天皇 高野天皇 銭の初めの事 四畿

内の事 易田 陵戸の事 政所の事 政所

寄人の事 時頼ノ民法法令 山陵の事 兵

事(教育) 王朝時代のこと 郷荘説 宮の

事 新莊園ノ禁商人活佛法朝(臣社寺ノ不

法) 租税ノ大数 政法官職 政事執事の

事 教育(中興) 銭知行之事 穀知行之

事 足利幕府の政畧 室町番衆の事 室町

時代の事 室町幕府の事 寺社奉行の事

大阪 文久二戊辰四月筑前人平野二郎ヨリ

禁庭へ奉密奏候上書ノ与 大阪町奉行の事

水越ノ改革 銃隊操練行ハル 徳川幕府法

令の公布 徳川幕府職制の事 徳川刑法の

事 若年寄の事 長崎奉行の事 大坂城代

の事 徳川幕府の公布と公布式 大阪目付

の事 大坂在番の事 幕領ノ総高租額 老

中の事 与刀同心の事 旗下・旗本の事

町奉行の事 大阪城番・大坂定番の事 浪

螢集(止宿人届出ノ件 町人百姓ノ武器所

持テ禁ス「天保八年」殺人罪ノ捜査官令

「天保八年」 公武合体論起ル 山陵奉

行の事 大阪落城並其時之触与(慶応三年)

徳川慶喜追討ノ大号令(慶応四年一月)

天皇御即位並ニ明治ノ改元(明治元年)

廃藩置県ノ断行(明治三年十一月)

徴兵令ノ発布(明治五年十二月)

元勲ノ大阪会議(明治八年二月)

藤田組贖礼事件ノ疑獄(明治十三年九月)

地方官会議ノ開設ト新聞条例発布(明治八

年六月)

諸法典ノ発布並ニ司法制度ノ沿革(明治二

十三年二月)

教育勅語下賜並ニ教育制度ノ沿革 (明治二

十三年十月)

帝國議會ノ組織ト元老院廃止 (明治二十三

年)

第一帝國議會 (明治二十三年十一月)

第二帝國議會及其解散 (明治二十四年十一

月)

選舉干渉内閣ノ不統一 (明治二十五年二月)

第三帝國議會 (明治二十五年五月)

第四帝國議會 (明治二十五年十一月)

第五議會及其解散 (明治二十六年十一月)

第六議會及其解散 (明治二十七年五月)

明治以後の教育 明治五年発布学制之概要

及び其沿革 廃藩置県 法布令並ニ法廻達

写 (明治四年一月ヨリ十二月迄) 洋字旺

盛 郵便 享保飢饉貨幣改革 天保ノ飢饉

銀座 通用金銀ノ事 コレラ 燈台増加燈

船浮標 (明治十年) 鯨ノ事 大阪二度驚愕

(沙越新八編 明治十二年刊)

政治 七

外交

遣唐使船 難波館 外交志稿交聘篇 欧州

人始めて我國に入る 東埔塞國トノ交渉

鴻港呂宋等ノ地方ト日本人 鴻港トノ交渉

暹羅國トノ交渉 安南國トノ交渉 呂宋ト

ノ交渉 世界形勢通覽表記 家康之対外政

略 家康之外交 (日本商人広南長官を打殺

す 朱印状船の制を拡張して海賊を檢束す)

五港自由貿易条約 帰化人 明治以前外交

台湾國ト日本國 鎖國の布令 (葡萄牙人の

放逐 阿蘭陀貿易の隆昌 カリウタ船の拒

絶 各貿易港の轉移) 蘭人檢夫留日本

論ズ 異國渡海の禁 米國彼理来ル 蘭人

再告

神武天皇東征 皇孫東征 日本武尊東征

新羅征服並鷹坂忍熊ノ叛太后摂政 三韓征

伐の事 神后の征韓 楠正勝ノ事 赤松彈

正氏範 水録年中武人割拠の形勢 大内氏

戰 亂

並に後藤基次大御所を伏し参らす事 銅連

火砲関東の大軍を敗る条 大野道犬お獨め

捕り則誅戮の事 秀吉公大徳寺を破却し古

溪和尚を誅せんとす 伏見鳥羽の役 明治

中興 外國ノ処分 社寺処分 財政国難

警視庁を置く 憲法頒布 諸稅肇正

經濟 一 農工商

土切農政飲食 大工杣木挽人数ノ事 釀酒法

酒の初めの事 酒戸稅 (足利時代) 釀戸の

石数を定む (徳川中期) 酒造ノ概略ト制度

ノ沿革 鴻池酒ノ事 強弩ノ創製 火器類

鐵砲 火矢 鐵砲伝来 銃砲 鐵砲輸入之起

原 ザヴェル布教師 カソリック布教師来る

種子島家略譜 鐵砲伝来録 三絃の起元 三

線鼓弓の古製 鐵冶 祝部土器 陶器 樽

紗羅 絹 真田紐の起原 油 硝子 本邦石

工業の創始 石垣 工産物輸出増加 (明治)

船舶の製水師ノ利 船舶 家屋 朱 朱座

外國模造品の弊 (明治) 諸國の生産貿易の

ノ強盛 和田殿公方ノ二遊臣ト戰ニ戰フ
石山城の名称 九鬼右馬充嘉隆 秀吉朝鮮
を征す 大阪再乱之事 大阪城天守を打つ
事 大阪の変 大塩騒動一件 大塩平八郎
撰河泉へ檄文 大阪町奉行所組与力大塩平
八郎ノ一揆ニ付奉行所ヨリ触書 大塩平八
郎ノ一揆當時現況 後素の性行及一揆ノ趣
意並願末 大塩平八郎一揆ニ関スル情況届
大塩平八郎一揆 伏見鳥羽之役 伏見鳥羽
ノ戰爭 応仁の乱 鹿兒島の變報 頭如上
人五人の命を救ひ給ふ並秀吉首代の由来を
語り金子を集む並木下秀吉智謀並秀吉泉州
堺に赴く 斎藤伊豆守利光堺に在し事 元
親泉州堺の津に到着 大野主馬介堺に遁来
し大阪へ帰城す 太閤記三好ノ伝 芽渚の
荒浪 (今井道与ノ事) 豊臣秀吉公泉州堺
ノ玉蓮舍在陳 堺及其附近の合戦 大坂騒
動並堺合戦 大御所堺に潜居す 後藤左門
堺に隠る 片桐且元と今井宗薫 堺にて大
野道犬を磔殺す 大御所菅田山へ落給ふ事

景況(明治) 米商会所株式取引所(明治)
銀行設立(明治) 郡山金魚の話の事
工業

呉服ノ始 熟皮ヲ製シ絞ヲ染ムル始 諸工業ヲ勤マシム 瀬戸陶工ノ初 金襴緞子縮緬等ノ始 襦子綸子天鷲試等ノ始 木綿布ヲ製スル始 日本古昔ノ写真術 本邦出版事業ノ起原 写真術ノ伝来 陶器ノ創造 漆器ノ起原 機工伝来ノ起因 沙ヲ織ル起因 織物ノ起因 西陣織ノ由来 白粉ノ始 蠟燭ノ起 金ノ始 銀ノ始 銅ノ始 器財

印形ノ始 升ノ始 秤ノ始 蠶蠟燭ノ始 本邦船舶ノ起 活版考 日本ニ於テ印板ノ始 大船ノ創造 活字板ノ創始 印形ノ創造 鉄砲ノ始 大砲伝来ノ起原(石火矢)

商業
売買ノ始 市ノ始 勘合符ヲ以テ明ト貿易スル始 手形ノ濫觴 酒家ノ標トシテ杉葉ヲ球形ニナシ橋頭ニ掲クル事

於ける製船術並線船術 比律賓群島に於ける 歐亜の交通 砂糖の輸入 大隈御下命之御朱印船 当時商業の形勢如何(附・海路諸法度の事 船中規約) 各地御奉書並ニ御奉書(朱印状)の縮図 寛永元年朱印状下附せられし船数 海南諸国の日本町(附・家康外交の一環僻) 家康二航路の開通を企画す 家康の讓歩外交並当時商民の進取気象 家康新航路を開て太平洋を横截る並に蘭船界浦に来る 日本商民海南諸国に於て専横を極む 御朱印船の事 異国渡海朱印船の數並其航路 新西班牙との交通貿易(アダムス船を作る 家康新西班牙の總督に書を胎る 秀忠書をメシシコに贈る) 外国渡航ノ禁止 欧州人ガ日本ニ通ズル始 我國ニ於テ近古貿易ノ盛ナリシ原因其後二百余年金銀銅輸出入ノ結果 耶蘇教嚴禁並ニ鎖国ノ原因 西洋文物伝入ノ起原 徳川家康大船ヲ造リテ亞米利加ニ発航セシム 日本ト西南洋諸國トノ交渉、交通事歴 御朱印船 航海大船の禁及長崎一港を埔頭と定む

經濟及貨幣

貨幣製造ノ始 民間錢ヲ使用スル初 楮幣ヲ行フ始 貨幣ノ始 貨幣鑄造ノ起原 鑄錢ノ濫觴 金貨幣鑄造ノ創始 紙幣ノ濫觴 無尺講ノ起 現今(明治三年)通用金銀銅貨及紙幣種目

飲食

造酒ノ由来 日本酒ノ起原 釀酒ノ起原 飯ノ始

農事

綿ノ始 蕎麥ヲ植ヘシ始 五斗俵ノ始 裁桑ノ元始 田ノ起 田制ノ起原 畑ノ原始 養蚕ノ原始 宅地ノ租稅 夏成正稅ノ始 石高ノ始 年貢ノ制ノ濫觴 四公六民法ノ初 五公五民法ノ始 三百坪一段ノ濫觴 百分三ノ地稅ノ制定 馬飼養ノ始 洋馬渡来ノ起原

經濟 二 貿易

貿易商業 外國貿易 勘合 近古時代当初に

秀吉洋船ノ貨物ヲ収ム 和蘭商船来堺 清國互市ノ制限 貿易品 外交志稿貿易編(西南諸國 歐羅巴及亞米利加) 和蘭 阿媽港 奧國ノ来南ヲ復ス 南 蚕船渡来 天主教伝道 切支丹伴天連等ヲ磔罪ニ処ス 徳川家康公ガ切支丹ニ對スル意見 大阪ト切支丹 和蘭商船日本ニ渡来 治外法權ヲ許シタル理由 鎖國断行ノ事情 貿易規程 日本船ノ外航ヲ禁ス 会所貿易 金銀貨濫出 唐船輸出入重要物品 阿蘭陀船入津覚帳 白帆黒船 外國交通

工業 上

工業總說

堺市の工業一斑

工業各説一 酒造、酒樽仲間 酒運上、酒屋敷造石高 江戸積酒樽荷印覺並ニ分量 酒造稅の沿革 酒造稅延期願並ニ達 酒類營業稅法發布 酒桶容量算法ニ付達

自家用料酒造税法 酒造人心得書
 酒造税則による申請様式
 酒造税改正陳情書提出
 滓引減量數顯 杜氏取扱規程
 讓造場規則 鳥井組長彰功記念式
 正副組長及常議員改選
 常議員会 組合紋章
 酒造組合規則 役員会評議員会
 全国酒造大会 酒造組合聯合大会
 一府三県酒造組合聯合会
 界酒造組合契約書
 共同酒造場設立に関する件
 界酒仲次同業者申合書
 界芳醇会、界西海組
 桶樽仲間賃ノ件 検査立会人ノ件
 酒類製造人数並ニ石数
 清酒造石一覽表 酒造業の実況
 酒造統計表 改造石高
 酒造統計(明治三十四年)
 清酒輸入地及石高月別表

清酒輸出地及石数並ニ地売一覽表
 酒石代相場毎月平均表(明治三十一―三十二)
 醸造用水(明治二十七―二十八)
 醸造水運酒賃値上ノ件(明治三十一年)
 鳥井審査官ノ受賞
 各地に於ける共進会等の受賞者
 喇酒会の受賞者 清酒献納の件
 試験所の移転 酒造事務所財産物件
 全国の米況 酒家沿革調査の事
 議員当選(明治二十六年)
 酒樽屋仲間申合判形帳(文化元年)
 酒樽屋仲間定書(文化八年、十年)
 工業各説二 庖丁鍛冶
 庖丁鍛冶仲間記録
 庖丁東京積打物問屋組合申合規約
 鍛冶職弟子職働差止其他
 出銀覚書
 田葉粉庖丁播州江出店仕候に付申合名前簿

工業 下

多葉粉庖丁鍛冶名前帳
 多葉粉庖丁鍛冶家の銘
 仲間定書(宝曆十一年)
 工業各説三
 醸造業
 界市酒樽業組合 その他
 製糸業
 撰糸絹 その他
 織物業
 絹問屋 嶋木綿織屋 毛綿問屋 木綿西
 染屋 界綿織所 露布現銀店 界綿織屋
 錦織ノ濫觴 綾織ノ濫觴 漢織 綾
 金襴 段通ノ起原 緞子 羅及紗 金紗
 金紋紗 明様ノ好絹及漆絹 一染織
 縮緬 錢屋織ト松屋織
 足袋
 足袋屋仲間縫職申合帳(明治元年) 御
 触承知印形帳(明治二年) 足袋縫手間

工業 中

質定 足袋仕入屋仲間
 鉄砲
 鉄砲師 鉄砲台師 鉄砲金具師 銃砲
 金物 鍛冶
 庖丁 御方庖丁 出齒庖丁 土居ノ原鋸
 加賀四郎 刀劔の抄記
 履物類
 毛皮革履の濫觴 塗木履 雪踏 金剛雪踏
 製塩、製紙
 湊壺塩 湊壺焼塩 角塩 壺塩ノ專
 腰張紙ノ事 一閑張紙細工 湊紙
 陶器
 湊焼陶器濫觴の概略 湊焼 行基焼
 楽焼 永楽焼
 漆器
 春慶塗 界春慶 春慶焼 刀劔の鞘
 竹細工
 甫竹茶 天神前楠 竹細工 大安寺ノ藪竹

雜

天川烏子紙 助松屋素麵 打栗 白炭
 一節鼓銅 瓦師 からかさ師
 鉄炮鍛冶
 鉄炮製造業樓並伊三郎小伝
 鉄炮鍛冶 鉄炮記
 鉄炮年寄
 鉄炮商井上関右衛門談話筆記
 堺に於ける武器製造
 煉瓦
 堺市煉瓦の盛衰
 大阪窯業株式会社報告書
 日本煉瓦株式会社略沿革
 堺煉瓦株式会社報告書
 機業(紡績、織通)
 堺の機場 織絹米由之卷写
 紡績所始原 堺紡績業の沿革
 堺紡績会社略沿革
 堺名産 堺織通商事歴
 堺織通の盛衰

諸工業

堺電燈会社の近況
 硫酸製造
 柴谷精米所の沿革
 臼屋値上の件
 線香の製造
 丹製法
 湊紙
 漆器 春慶塗
 鞆の製造
 堺の教寄屋工
 湊焼の起原 湊焼の祖先
 堺陶器の沿革
 商業 上
 商業総説
 堺の繁栄 年頭諸仲間御礼目録
 銀行と会社 堺富豪取調の事
 御用金名前 海部屋宗貞遺書
 堺港移出入品数量

商業各説

取引所 株式会社堺株式米穀取引所ノ起原沿革
 朱座 朱座の事 朱座一件
 糸割符 糸貿易の制規 貨物一法
 銀座家覚書 銀取渡ノ通
 香料商内に関する一札の事
 糸割符申合帳増加条写
 糸年寄へ申渡写
 糸割符元ノ被仰付候ニ付御礼並諸祝儀帳
 唐物引請方につき覚書
 糸割符
 線綿問屋 嶋毛綿問屋
 操綿屋波止築立出銀の事
 南組綿屋仲直立 堺木綿に就いて
 木綿商業調査(天正年間―明治三十四年)
 綿商業沿革調査(明治三十四年)

米問屋

米穀問屋並ニ仲買組合の沿革

商業 中

総説(含工業)
 京大坂の繁栄 堺商業 工産惣論 商工業
 銀行、会社、工場名簿(明治三十三年)
 堺港出入船舶表及輸出入物品原価(明治三十三年)
 商業者種別及工業者種別(明治三十三年) 和泉志 撰津 堺市の産物
 堺土産品名及数量ノ事(明治七年) 出入
 品大略 土産統計書
 堺港
 堺港の濫觴
 米相場 米相場所 米商取締諸件 大阪堂島
 二米相場ヲ許ス
 薫香
 伽羅沉香問屋
 糸割符
 糸荷廻舟 住吉糸割符再起書類

質屋、古手屋

質屋年寄 古手屋年寄 古道具屋年寄 古

手屋

薬種

名薬類 薬種株主 白粉 御免エンセウ屋

煙管屋

魚業

堺魚市 堺及高石魚市場 京都御用海漁所

桜鯛 芽湊鯛ノ事 前魚 鰻煎魚 沖鯨

干鯛油カス問屋 貝細工 金魚

履物商

履物商々業調査(明治十年―三十年)

雑

綿油相場会所 附木屋 朱座 青物問屋

茶煙草問屋 御掛屋 問屋年寄 大寺餅

紅葉豆腐 唐渡屋センベイ 鬼煎餅

袖松瓜 甜瓜

商業 下

商業各説

魚問屋

魚問屋中買に係る達(安政六年)

魚問屋組合に關する調査

堺魚商組合規約

砂糖問屋

規定一札

規定帳(明治三年)

線香問屋

蘇物線香商組合ノ起原沿革

肥料問屋

肥料問屋仲買組合の沿革

油問屋

油問屋に關する件

材木及菜湯

材木等問屋株御免願之件

菜湯願書(明治元年)

貿易

堺の人常珍「バテレン」を密航して蘭船に発かる

堺浦貿易に就て諸書の引用

堺貿易史論

堺古昔外国との交易場たりし事

博覧会、水族館

京都博覧会票告 堺市水族館

水族館設計 設備委員会と市参事会

市の出品勧誘 公会堂設置の議

水族館の事務と堺史編纂

博覧会船の計画 堺市有志運動願末

協賛会と出品協会

来觀人と旅店 協賛会発起人会

準備委員会

事務官の視察

出品協議

堺市の施設

堺市編纂

堺市編纂常務委員

出品組合

堺市施設(動物飼養)

出品の奨励

橋梁の架換

博覧会協賛会

堺市編纂の事業

水族館の設計

集談会

協賛会の成立

水族館の地鎮祭

水族館の敷地視察

堺出品協会

堺協賛会評議員会

水族館工事

夜間開場

堺協賛会聯合會

幻燈會

交通機關その他 水族館の噴水器

松田事務官の意見

設備委員会 入場券と携帶品預り料

堺市の出品 堺教育會

共同売店 農産物出品の選択法

水族館觀覽料その他

堺市の売店 公会堂委員會

御臨幸準備 博覧会と大浜の魚市

水族館場内の奏樂堂

南北公園の棧橋と眺望閣

水族館臨幸設備に就て

水族館郵便局出張所

界中学校の出品 水族館温室開館

海鱸の飼養所 錦魚の出品

堺停車場の設備 堺市街電気鉄道

堺公園拡張 臨幸準備の協議

水族館觀覽券 水族館と龍宮城

水族館諸規則改正

水族館技師任命 堺市案内記

品評会

- 第二、第三回堺区製産物品評会
- 第一回堺市農産物品評会
- 堺産物品評会

漁業

- 大阪片町鮎屋七左衛門一件(寛政元年)
- 伏見宮様御用所被仰付候一件(〃)
- 禁裏様御用御肴差支に付堺南北漁師並ニ撰州五ヶ浦漁師相手取御願申上候一件(寛政元年、五年)

市会議事録五 明治三十年

市会議事録六 明治三十四―三十五年

堺史料類纂拾遺 一―十

故小河一敏事略

左海鑑

参考資料 乾

祥雲寺略記

禅楽寺由緒書

堺旭蓮社縁起抜要

海会寺由緒

楽焼系譜

参考資料 坤

陝山侯手書記

西ルイス家系

泉州堺吉兵衛行状聞書

宗久書札留

長柄橋本記

堺区学事沿革

- 市会議事録一 明治二十二―二十三年
- 市会議事録二 明治二十四年
- 市会議事録三 明治二十五―二十七年
- 市会議事録四 明治二十八―二十九年

文珠四郎染付暖簾

その他

- 手鑑 享保二年
- 手鑑 延享八年八月改
- 手鑑 宝暦七年 三冊
- 手鑑 寛政八年

堺市郷土資料目録 第二集

堺史料類纂総目次

編集 発行 堺市立図書館

印刷 東洋プリント株式会社
電話 34 四二二〇番

昭和三十六年三月一日 発行